

都 市 消 防 委 員 会
説 明 資 料

平成27年9月25日

住 宅 都 市 局

目 次

	頁
1 契約の一部変更について	1
(1) 契約金額の増減の内訳	1
ア 増額の内訳	1
イ 減額の内訳	1
(2) 椿町線 1号橋及び 2号橋の基礎杭の施工概要	2
(3) 工事工程表	3
ア 基礎杭がない場合（当初）	3
イ 市が椿町線 2号橋基礎杭を施工する場合	3
ウ JR東海が椿町線 2号橋基礎杭を施工する場合	3

1 契約の一部変更について

(1) 契約金額の増減の内訳

ア 増額の内訳

項目	金額
	千円
椿町線1号橋基礎杭の施工	846,300
椿町線2号橋基礎杭の施工	709,500
合計	1,555,800

イ 減額の内訳

項目	金額
	千円
線路下の止水工事 及び支障物撤去工事	961,400
安全対策等	302,800
合計	1,264,200

(2) 椿町線1号橋及び2号橋の基礎杭の施工概要

杭（鋼管杭）の直径及び延長	直径：約1.4m 延長：約34m
杭1本当たりの施工単価	約33,800千円
工法	回転杭工法
杭1本ごとの作業手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 クレーンにより回転圧入機を組立て・設置 2 分割した杭を回転圧入機に設置 3 杭を貫入 4 次に貫入する杭を溶接 5 クレーンにより回転圧入機を解体・移動 <p style="text-align: right;">} 繰り返す</p>
杭1本当たりの施工期間	約7日（標準期間）
施工上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道運行の安全確保 ・地下水位が高いことに伴う止水対策 ・狭あいな作業スペースでの安全確保

(注) 杭1本当たりの施工単価は、総工事費を杭の本数で割った金額（止水のための薬液注入工費を除く。）

(3) 工事工程表

ア 基礎杭がない場合（当初）

施工者	工種	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
J R 東海	アンダーパス	[Gantt bar from FY27 to FY28]			
	椿町線 1 号橋 下部工		[Gantt bar from FY28 to FY29]		
名古屋市	椿町線 2 号橋 下部工		[Gantt bar from FY28 to FY29]		
	椿町線 1・2 号橋上部工等			[Gantt bar from FY29 to FY30]	

イ 市が椿町線 2 号橋基礎杭を施工する場合

施工者	工種	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
J R 東海	アンダーパス	[Gantt bar from FY27 to FY28]			
	椿町線 1 号橋 基礎杭		[Gantt bar from FY28 to FY29]		
	椿町線 1 号橋 下部工		[Gantt bar from FY29 to FY30]		
名古屋市	椿町線 2 号橋 基礎杭		[Gantt bar from FY28 to FY29]		
	椿町線 2 号橋 下部工			[Gantt bar from FY29 to FY30]	
	椿町線 1・2 号橋上部工等			[Gantt bar from FY29 to FY30]	

ウ J R 東海が椿町線 2 号橋基礎杭を施工する場合

施工者	工種	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
J R 東海	アンダーパス	[Gantt bar from FY27 to FY28]			
	椿町線 1 号橋 基礎杭		[Gantt bar from FY28 to FY29]		
	椿町線 1 号橋 下部工		[Gantt bar from FY29 to FY30]		
	椿町線 2 号橋 基礎杭		[Gantt bar from FY28 to FY29]		
名古屋市	椿町線 2 号橋 下部工		[Gantt bar from FY29 to FY30]		
	椿町線 1・2 号橋上部工等			[Gantt bar from FY29 to FY30]	

備考 点線矢印は、各工種の施工手順を示す。

